

使者三員 紀闈丹 韓俊 加泥每

都通事一員 蔡賓

人伴一十二名

国王附搭の蘇木四千斤・胡椒一千斤・番錫四百斤

弘治四年（一四九二）八月二十一日

右の符文は使者紀闈丹及び都通事蔡賓等に付し、此れに准

ぜしむ

進貢等の事 符文

1-24-08

国王尚真の、慶賀進貢のため正議大夫梁徳等を遣わす符文

（一四九三、八、二〇）

琉球国中山王尚真、慶賀、進貢等の事の為にす。

今、特に正議大夫梁徳を遣わし、長史梁能・使者鄔善世等と同

に、表箋文各一通を齎捧せしむ。安字号海船一隻に坐駕し、馬一

十五匹・硫黄二万斤並びに鍍金銅結束紅漆靶鞘袈刀一十六把・鍍

金銅結束紅漆鞘沙魚皮靶腰刀一十把・鍍金銅結束螺鈿鞘沙魚皮靶

腰刀六把を装載し、京に赴き御前に進賀し、仍お礼部に赴き告稟

して進取せしむる外、茲の論遣を承くれれば、途に在りて遲滞して

便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給に至るべき

者なり。

今開す 赴京の

正議大夫一員 梁徳

使者三員 韓俊 馬佳魯 達魯

都通事一員 程璉

人伴二十二名

国王附搭の蘇木三千斤・胡椒一千斤・番錫一千二百斤

弘治六年（一四九三）八月二十日

右の符文は正議大夫梁徳及び都通事程璉に付し、此れに准

ぜしむ

慶賀等の  
事の為にす 符文

注\*この入貢については『明実録』弘治七年四月壬戌の条に記事があ  
る。

（1）馬佳魯 達魯 原文では馬佳魚 達魚とあるが、同時発行の

執照（二八一二九）では馬佳魯・達魯とあり、魚は魯の誤りで  
あろう。